



ステークホルダーとの持続的な関係構築に向けて

ジェイテクトグループは、今日までさまざまなステークホルダーのみなさまに支えられて成長してきました。みなさまからのご意見・ご要望は、事業活動の選択の場面において重要な判断材料となり、実りある対話の機会を増やすよう努めています。

従業員

社員がいつまでも健康でいきいきと働ける職場づくりと、一人ひとりが自発的に学び、成長できるような人材育成の仕組みづくりに取り組んでいます。

人材育成の取り組み

ダイバーシティの推進

ダイバーシティ推進をJTEKT GROUP VISIONを実現する上での重要な経営戦略の一つと位置づけ、取り組みを進めています。

ダイバーシティの具体的な取り組み

究極のダイバーシティは個々人の個性を大切にすること、との考えのもと、従業員一人ひとりが意欲的に仕事に取り組むことができる職場環境づくりに日々取り組んでいます。

- 2015年度より、ダイバーシティ推進を本格化し、女性と外国人の活躍推進に焦点を当て取り組み開始
- 2017年度より、シニア、障がい者の活躍推進へ取り組みを拡大し、推進中
- 2018年度は、育児・介護と仕事との両立支援として、祝日託児の拡大や介護や育休復職者向けセミナー等を開催
- 2019年度は、LGBTに関する理解活動・支援を推進
- 2019年5月、次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん認定」を受けました



両立支援制度(例)

- ・育児短時間勤務:子どもが小学校2年生を修了する3月末までの期間、所定労働時間の短縮が可能
- ・託児所支援:事業場内祝日託児、トヨタグループの賛同4社と協同で託児所(たっちっハウス)を設置
- ・ベビーシッター補助制度:利用料の50%を会社補助(上限 年間24万円/人)

人材育成の具体的な仕組みづくり

ジェイテクトの人材育成の仕組みづくりとしては、OJT、研修制度(OFF-JT)、キャリア形成を柱に構築を行っています。

- OJT
- 研修制度(OFF-JT)
 - 階層別・職位別・年齢別
 - 選抜/テーマ別(問題解決研修等)
 - 専門分野別(安全衛生、環境、品質、技術等)
- サクセッションプラン(後継者育成計画)
 - 計画的な育成異動による経験値を付与
- タレントマネジメントシステム、学習管理システム導入により、データを活用したローテーションの仕組みづくり、個人別スキルギャップ把握/キャリアプラン策定、研修のオンデマンド化等を計画中
- グローバルサクセッションコミッティーにより、グループ全体の経営人材を育成・最適配置

障がい者サポート

働きやすい職場づくりと、一人ひとりの障がい特性に合わせた配属を行い、障がいのある従業員の活躍を支援しています。また、社会において障がい者の職場定着率の向上が課題となっている中、実習により職場・業務をよく理解してもらうことで、定着率の向上に努めています。

安全衛生面の取り組み

安全で快適な職場環境づくりを目指して

ジェイテクトでは「全ての災害は必ず防ぐことができる!」という全社安全衛生理念のもと、全従業員が一体となって安全衛生活動や快適な職場環境づくりに取り組んでいます。また安全理念を表したグローバルメッセージ“All for One in Life”も併せて策定し、オールジェイテクトで災害ゼロを目指していきます。

安全衛生理念

ジェイテクトおよびジェイテクトグループは、『全ての災害は必ず防ぐことができる!』の信念のもと 災害ゼロに向けて、安全で安心な職場づくりを目指します。

All for One in Life

『全ての従業員が安全・安心で健康に働くことのできる「人づくり」「職場づくり」を推進します』

【ジェイテクト安全衛生行動指針】

1. 全員参加による きめ細かい活動を進めます。
2. 安全衛生に関する法令と安全のルールを理解し順守します。
3. 災害ゼロに向けてたゆまぬ改善を進めます。

2020年6月25日
株式会社ジェイテクト
専務取締役 佐野 真琴

2019年3月11日より8月末まで「安全でも、世界No.1」を目指して全社で安全キャンペーンを実施しました。具体的には、
①社内報で3月号から半年間にわたって安全特集を連載 ②各事業所に安全ポスターを掲示 ③安全携帯カードを配布
社員一人ひとりの安全意識の向上と安全職場、安全人間の実現を目指しています。

健康面の取り組み

一人ひとりの心と身体健康づくり

従業員一人ひとりが健康を大切に、楽しくいきいきとした毎日を送ることができるよう支援するために健康管理活動を行っています。

心の健康づくり

うつ病など精神系疾患の発症予防を主眼としたメンタルヘルス対策を地道に推進していますが、2019年度新規休業者は20歳代、30歳代が増加しました。その結果を受けて30歳代の社員に対してコミュニケーション能力向上研修を実施しました。また、新任管理監督者を対象とした階層別研修の中で、メンタルヘルス教育を実施しています。2019年度は、基幹職メンタルヘルス教育、コミュニケーション能力向上研修、工場監督者向けの教育を実施。職場メンバーへの声かけを増やし、発言しやすい雰囲気を作るように働きかけを行いました。

身体の健康づくり

生活習慣病をはじめとする疾病の予防、早期発見・早期治療を重視し、従業員の健康管理を積極的にサポートしています。

「健康経営優良法人2020 (大規模法人部門)~ホワイト500~」に4年連続で認定

当社の従業員の心と身体健康づくりに向けた積極的な取り組みが評価され、4年連続で「健康経営優良法人2020(ホワイト500)」に認定されました。



取引先様

遵法精神に基づき、公正・透明、自由な競争ならびに適正な取引を行います。

公正・公平な取引を推進

ジェイテクトは、取引先様をパートナーとして尊重し、相互信頼に基づいた発展・成長を目指しています。

「企業行動規準」「調達理念」において、国籍、企業規模、取引実績の有無を問わず、オープンでフェアな取引を実践する方針を明文化。また、公正かつ公平な参入機会を提供するために、ウェブサイト取引開始までの手順を公開しています。

調達理念

オープンでフェアな取引 国籍、企業規模、取引実績の有無を問わず、オープンで公正かつ公平な参入機会を提供します。

調達基本方針

相互信頼	取引先様との密接なコミュニケーションにより相互の信頼関係を構築します。
共存共栄	取引先様との相互信頼に基づく相互繁栄を実現します。
長期安定的取引	継続取引を行うことで品質、価格、量、納期を満足する安定調達を実現します。
グローバル調達	グローバル視点での最適調達を実現します。また強固なサプライチェーンで国際競争力の向上を図ります。

調達方針説明会

2019年4月に開催し、258社、277名に参加いただきました。2019年度の調達方針として、ビジネスの大前提である「CSRの強化」「安全の徹底」をお願いするとともに、年度重点実施項目を説明。また年間を通して品質、技術、VE^{※1}・VA^{※2}提案、環境(2019年度から新設)において優れた実績をあげられた取引先様の表彰を行いました。

※1 Value Engineering: 価値工学、シンプルでロバスト性のある構造とすること
 ※2 Value Analysis: 価値分析、量産の始まった製品に対して収益性改善をすること

ジェイテクト協力会 減災推進勉強会

ジェイテクト協力会は取引先様250社(2019年度時点)で構成され、会員相互の信頼関係の構築と、企業基盤の向上を目的として、品質管理大会、研修会、安全分科会、大規模災害に備えた減災勉強会などの活動を行っています。昨今注目されている減災活動について2019年度は7月、11月に2テーマ(時間経過型災害(台風・水害)への対応について、リスク把握～対策実施までの6ステップについて)について大阪と名古屋で勉強会を実施し、平時から有事発生時の備えや対応についての必要性の理解を深めていただきました。

取引先様向け「CSR活動項目ガイドライン」

ジェイテクトのCSRの考え方を取引先様と共有するために、取引先様向け「CSR活動項目ガイドライン」を発行し、遵守いただきたい事項を明確化しています。このガイドラインは、取引先様の上流にさかのぼった展開も要請しています。

1. マネジメント上の取り組み		
● コンプライアンス	● リスクマネジメント	
2. ステークホルダーへの取り組み		
● 品質確保・向上	● 良好な労使関係	● 企業倫理の遵守
● 適正な取引	● 人権擁護・多様性の尊重	● 地域社会への貢献
3. 地球環境への取り組み		
● 環境マネジメント	● 環境に配慮した事業活動	

ガイドラインで要請している活動項目

地域

「良き企業市民」として社会貢献活動を積極的に推進します。

スポーツ振興の取り組みについて

スポーツを通じ、青少年の育成やスポーツの振興に貢献すると共に、日本一となったジェイテクトSTINGSの活躍の場を広げることで、社名認知度および好感度の向上に努めます。



トップリーグ昇格7年目にして初のリーグ優勝を収めたジェイテクトSTINGS



V.LEAGUE2019-20シーズン優勝

西田有志選手の日本代表レギュラー定着および東京オリンピック効果により、全国ネットでのテレビ出演が増加しています。

『跳べ 未来へ!』のキャッチフレーズでテレビCMやYouTubeで放映中の広告動画も評判になりました。

MVPや日本人初の得点王など、数々の賞に輝いた西田選手

バレーボール教室を開催

ジェイテクトSTINGSの活動を通じて、バレーボールの振興と地域のみなさまとの交流を目的とし、2019年度は全14箇所で開催しました。7月に訪問した秋田では、当社のIT開発センターがあることもあり、100名超の小中学生がVリーグとバレーボールを通じ楽しく交流し、汗を流しました。ジェイテクトは常に「No.1」を目指してチャレンジし続けている選手たちを盛り上げ、応援していくことで、グループ全体の一体感を醸成し、地域・社会の皆様にも少しでも貢献できるよう努めてまいります。





自然共生の取り組み

豊田市 旭地区森づくりプロジェクト

ジェイテクト 本社・間接部門

ジェイテクトは、「旭木の駅プロジェクト実行委員会」が実施する森林整備の活動に、豊田市おいでん・さんそんセンターの支援を通じて2019年より参加しています。2019年12月の活動では、旭木の駅プロジェクト実行委員会が山主とともに整備を行う0.5ヘクタールほどの人工林にて同委員会、矢作川水系森林ボランティア協議会「山楽会」の指導のもと、間伐材の集材、運搬作業を実施しました。2020年からは森の健康診断や間伐作業を加えることで、地域環境の保全と継続的に生物多様性保全を行うための環境人材の育成を図る予定です。



十市町 生態系調査

奈良工場

ジェイテクト奈良工場は、工場所在地である十市町の十市池にて2019年12月に近畿大学と連携し、生態系調査を実施しました。奈良工場では、2017年度より近畿大学の支援の下、工場敷地内のビオトープにて奈良県にて「特定希少野生動植物」に指定されているニッポンバラタナゴの保護活動を実施しており、今後も近畿大学や近隣住民の皆様と連携し、地域に根差した活動を展開してまいります。



海外関係会社での取り組み

NGO法人の活動サポート

海外関係会社: JABR(ブラジル)

JTEKT AUTOMOTIVA BRASIL LTDA.では、テトラパックの回収・再利用を通じて現地でのNGO法人“Brasil Sem Frestas”の活動をサポートしています。Brasil Sem Frestasは地域の家屋における生活温度環境を改善するために、壁の修復、改善活動を行っています。



地域施設へのサポート

海外関係会社: JAMX(メキシコ)

JTEKT AUTOMOTIVE MEXICOでは、動物保護施設への餌の提供、避難所への衛生用品の提供や介護施設支援などの活動を通して地域貢献を行っています。



新型コロナウイルスに対する活動

ココロハコブプロジェクト

「ココロハコブプロジェクト」とは、東日本大震災の被災地を支援するために、全国から「心を運ぶ」という気持ちを込めて、トヨタ自動車、トヨタ販売店およびその従業員が、継続的かつ長期的に実施してきた支援活動の総称です。今回は、新型コロナウイルス感染症で闘病中の方、日夜奮闘されている医療従事者・政府・自治体関係者の皆様に対して、何か貢献できないかとの思いから、トヨタグループが力を合わせて取り組む支援活動の総称を「ココロハコブプロジェクト」といたしました。



マスク内製

新型コロナウイルス対策として、トヨタグループ各社の協力を得ながら従業員用マスクの内製を始めました。2020年6月より生産・配布を開始しています。当社のモノづくりの技術を活かしてマスクを内製化することで市井のマスク需給緩和に貢献していきます。

医療用防護服の寄贈

ジェイテクトグループの光洋機械工業株式会社では、事業所所在地である大阪府八尾市に対する貢献活動として、380人の従業員が、自宅で医療従事者が着用する防護服800枚を作成しました。この手作り防護服は、八尾市を通じて八尾市立病院に寄贈されました。



移動式PCR検査施設の試行

国立大学法人徳島大学とジェイテクトの間で、2019年に締結された「包括連携協定」に基づき、移動型試験施設の共同開発を行ってまいりましたが、今般の新型コロナウイルス感染症の拡大を見据えた、検査体制の充実と医療従事者の安全確保に資するための取り組みとして開発中であった移動型試験施設を緊急改造し、「移動式PCR検査施設」を新たに開発しました。当施設の今後の利活用を図る上で、実際の医療現場における課題を検証・評価するため、当施設でのPCR検査を試行的に実施します。



施設外観



施設内部